『フェイクニュース　拡散じゃなく　確認を』

～ 富山県立氷見高等学校が「総務省北陸総合通信局長賞」を受賞！～

総務省北陸総合通信局（局長 菱田 光洋）は令和７年６月16日（月）、2025年度「情報通信の安心安全な利用のための標語」募集において、北陸３県から学校部門に応募があった作品のうち「総務省北陸総合通信局長賞」を受賞した富山県立氷見高等学校を訪問し、表彰状と副賞を贈呈しました。

【受賞作品】　フェイクニュース　拡散じゃなく　確認を

2025年度 標語による啓発ポスター

作品の考案者である舛田結菜さん（３年生）は表彰状を受け取ったあと「SNSで偽・誤情報が拡散しているのを目にした。情報を発信するときは、他人を傷つけないよう１度立ち止まって内容を確認して欲しい」と語り、喜びの笑みを見せました。

今回の標語作成は、情報の授業の一環として取り組んだもので、徳前紀和校長は「受賞作品を全校生徒に伝え、『心かよう通信』を心がけて欲しい」と述べました。

今年度の標語は、令和６年12月１日から令和７年２月28日までの間募集し、全国から個人部門で19,210点、学校部門で255点の応募がありました。

北陸総合通信局では、今後、受賞作品が掲載されたポスターによる広報・啓発活動を実施するとともに、インターネットやSNSにおける利用者のICTリテラシー向上を目指す官民連携による意識啓発プロジェクト「DIGITAL POSITIVE ACTION」を推進していきます。

○情報通信の安心安全な利用のための標語

子どもたちの情報モラルやICTリテラシー向上、児童生徒が学び考えるためのきっかけづくり、更には、情報通信利用者が情報通信を安心・安全に利用するためのルールやマナー、情報セキュリティに関する意識や知識の醸成を図ることを目的に、平成20年度から標語を公募し、受賞作品を用いた啓発活動を行っているものです。

表彰状を受け取る舛田さん

左から菱田局長、舛田さん、徳前校長

お問い合わせ先　情報通信部電気通信事業課
０７６－２３３－４４２２